

令和 7 年度主な取り組み内容

1. 広報物の刷新

①ホームページ

デザイン、ページ構成等を一新し、求める情報にたどり着けやすくなるとともに、スマートフォンによる閲覧に適したものに変更した。

②パンフレット 2 種類

京都犯罪被害者支援センター説明用、支援を必要とする人向け用の 2 種類とも、ホームページとデザインを共通化。支援の場、講演、説明や営業などに使えるものに変更した。

③会報紙「はーとめーる」

年 3 回、8 ページ、白黒、文字情報主体から、年 2 回、12 ページ、カラー、写真・図を多用したビジュアル的なものとし、気軽に手に取ってもらえるものに変更した。

2. 支援活動の充実 自助グループの立ち上げ

令和 8 年 10 月に被害者同士が安心して話せる交流の場「自助グループ」の立ち上げに向け、京都犯罪被害者支援センター理事、職員で構成された検討委員会を 3 回開催し、専門家、京都犯罪被害者支援センター理事長、理事、職員で構成された準備会議を 1 回開催した。また、他センターへ訪問し、運営実態を見聞きした。今後も立ち上げに向けての検討・準備を重ねる。

3. 財政基盤の確立 自主財源増加への取り組み

①遺贈寄附

京都弁護士会所属の法律事務所に、財産分与や遺贈等について相談に来られた方に対して、「遺贈先として当センターをご紹介・ご推薦」いただけるよう、京都弁護士会に協力を依頼し全法律事務所にパンフレットを配布した。

②「金券 de 支援」の開始

商品券・切手・テレホンカード・書き損じはがきなどを、「金券等を用いた寄附に関する業務提携を行った金券ショップ」に送付し、買取金額を京都犯罪被害者支援センターへの寄附となる取り組みを開始した。京都府市町村・京都府警本部・警察署へも協力依頼を行った。

③行政からの賛助金獲得のため分担金全国調査

京都府市町村からの助成金/賛助金獲得(新規・増額)の方策として、他センターで実施している「市町村ごとに人口当たり〇〇円の分担金方式」の検討を行った。そのための実態調査を全国の全センターに向けてアンケート調査を実施した。調査結果は全センターにフィードバックするとともに、市町村に投げかけを行った。

4. 犯罪被害者支援用語集の発行

犯罪被害者支援に役立つ用語集をボランティアが中心になって作成する取り組みを令和 6 年度に引き続き、令和 7 年度も継続し完成した。印刷製本 500 冊を 6 月 21 日の社員総会にて発表するとともに、京都犯罪被害者支援センター関係者、全国の被害者支援センター、京都府警察、京都府市町村の被害者支援担当窓口、その他関係機関に配布した。

1. 相談事業

電話 1,013 件（電話 935 件、電子メール・手紙等 78 件）

面接 343 件

新規警察情報提供 22 件（前年比 20 件減、平成 15 年度からの累計 446 件）

(1) 電話相談

開室日	京都：238 日 月曜日～金曜日 13：00～18：00（令和 7 年 6 月 30 日まで） 月曜日～金曜日 12：00～17：00（令和 7 年 7 月 1 日から） 京都市犯罪被害者総合相談窓口 075-451-7830 犯罪被害者サポートダイヤル 0120-60-7830 ほくぶ相談室：92 日 月曜日・木曜日 12：00～16：00 犯罪被害者サポートダイヤルほくぶ相談室 0120-78-3974 ※いずれも祝・休日、8/12～8/16、12/28～1/4 を除く
件 数	合計（電子メール・手紙等含む）1,013 件 警察からの情報提供分 268 件 電話 935 件（前年比 87 件増）、電子メール・手紙 78 件（前年比 12 件増） 京都市犯罪被害者総合相談窓口 488 件（前年比 34 件増） 犯罪被害者サポートダイヤル 422 件（前年比 60 件増） 犯罪被害者サポートダイヤルほくぶ相談室 25 件（前年比 7 件減）

(2) 面接相談

件 数	合計 343 件（前年比 155 件減） 警察からの情報提供分 137 件 京都：334 件（前年比 159 件減） 警察からの情報提供分 136 件 内カウンセリング 147 件（前年比 117 件減） 法律相談 1 件（前年比 1 件増） ほくぶ相談室：9 件（前年比 4 件増） 警察からの情報提供分 1 件 内カウンセリング 0 件（前年比 0 件）
-----	--

2. 直接的支援事業

件 数	合計 559 件（前年比 145 件減） 警察からの情報提供分 251 件 京都：532 件（前年比 158 件減） 警察からの情報提供分 249 件 ほくぶ相談室：27 件（前年比 13 件増） 警察からの情報提供分 2 件
支 援	・付添（傍聴、法律相談、行政窓口、病院、警察等） ・他機関との連携 ・代理傍聴、自宅訪問等 ・住宅に関する申請手続 ・生活資金の給付申請手続 ・精神医療費用助成申請 ・生活再建及び法的援助助成事業申請手続き

* 電話相談・面接相談・直接的支援件数内訳

下段（ ）：前年度件数

犯罪 種類別	①殺人(傷害致死含む)	②強盗(致死含む)	③不同意性交等	④不同意わいせつ	⑤その他の性暴力	⑥暴行・傷害等	⑦危険運転致死傷	⑧交通事犯	⑨財産的被害	⑩DV	⑪ストーカー	⑫虐待	⑬その他	合計
電話相談 ※メール含む	90 (44)	6 (16)	170 (186)	98 (104)	23 (15)	335 (226)	1 (0)	19 (18)	47 (96)	11 (31)	29 (20)	22 (41)	162 (117)	1,013 (914)
面接相談	20 (27)	6 (19)	92 (168)	59 (91)	11 (4)	94 (81)	1 (0)	21 (12)	11 (13)	3 (42)	11 (11)	0 (5)	14 (25)	343 (498)

直接的支援	57 (53)	8 (62)	160 (227)	93 (146)	17 (12)	139 (118)	6 (8)	23 (19)	4 (2)	2 (17)	39 (26)	3 (6)	8 (8)	559 (704)
合計	167 (124)	20 (97)	422 (581)	250 (341)	51 (31)	568 (425)	8 (8)	63 (49)	62 (111)	16 (90)	79 (57)	25 (52)	184 (150)	1,915 (2,116)

3. 広報啓発事業

(1) 広報啓発活動

○会報紙の発行

- ・はーとめーる 73 号（7 月）1,300 部、74 号（2 月）1,300 部

○広報啓発・イベント用チラシ等

・ポスター

南丹市・京丹波町コミュニティバス掲示用 40 枚

犯罪被害者週間 京都市広報版掲示用 10,910 枚

令和 7 年度ボランティア募集 200 枚

令和 8 年度ボランティア募集 500 枚

ホンデリング 200 部

京都犯罪被害者支援センター周知用 A2・A3・A4・B2

・パネル 2 枚

・パンフレット改定

被害者用、一般用 各 3,000 部

・犯罪被害者支援用語集 500 部

・チラシ

ホンデリング 10,000 部、

第 26 回犯罪被害者支援京都フォーラム 5,000 部

遺贈寄附 5,000 部

街頭活動 300 部

・自動販売機用ステッカー

・啓発グッズ等

不織布バック 500 枚

ストレスリリーサー 200 個

○ホームページ

全面改正、スマートフォンによる閲覧を容易にする

(2) 犯罪被害者週間（11 月 25 日～12 月 1 日）行事

○パネル展示（主催：京都市、京都府、京都府警察、（公社）京都犯罪被害者支援センター）

パネル展示、ポスター掲出、リーフレット等啓発物、龍谷大学付属平安高等学校生徒による

「一行詩」の作品展示、「いのちを考える教室」紹介展示

・左京区役所ロビー 11 月 10 日～11 月 14 日

・ゼスト御池寺町広場 11 月 18 日～11 月 20 日

・京都市役所分庁舎 1 階ロビー 11 月 25 日～12 月 1 日

○街頭活動

・イオン福知山 11 月 19 日

・PLANT 福知山店 11 月 20 日

・亀岡駅のどこかめロード 11 月 27 日

(3) 公開講座・講演会

○犯罪被害者支援講演会 宇治市

日 時	令和 7 年 11 月 26 日（水） 14：00～15：30
場 所	宇治市生涯学習センター
主 催	宇治市、(公社)京都犯罪被害者支援センター
参 加	75 名
内 容	・ 講演「深まる苦しみ 広がる傷口」 中江美則 NPO 法人ルミナ理事長 ・ 京都犯罪被害者支援センター紹介 中道教頭 (公社) 京都犯罪被害者支援センター専務理事

○公開講座～社会全体で被害者を支えるために～ 京田辺市

日 時	令和 8 年 2 月 4 日（水） 13：30～15：00
場 所	京田辺市立社会福祉センター
主 催	(公社)京都犯罪被害者支援センター
共 催	京田辺市
後 援	京都府田辺警察署、綴喜犯罪被害者支援連絡協議会
参 加	32 名
内 容	・ 講演「深まる苦しみ 広がる傷口」 中江 美則 NPO 法人ルミナ理事長

(4) 第 26 回犯罪被害者支援京都フォーラム開催

日 時	令和 7 年 11 月 8 日（土） 13：00～15：30
場 所	京都市北文化会館
主 催	京都市、(公社)京都犯罪被害者支援センター
後 援	京都府、京都府警察本部、京都弁護士会、京都府犯罪被害者支援連絡協議会
参加	128 名
内 容	・ 第一部 講演「性被害と社会の現状」 小西聖子 武蔵野大学学長 ・ 第二部 対談「身近な人が性被害にあったら」 小西聖子 富名腰由美子 (公社) 京都犯罪被害者支援センター支援局長 ・ 第三部 京都犯罪被害者支援センターの活動紹介と感謝状贈呈式

(5) 街頭活動

○イベント会場にて広報活動

- ・ 府民交流フェスタ in 京都府立植物園（京都府）11 月 3 日

(6) 講師派遣等

○派遣（17 名、26 ヶ所、延べ 39 回）

京都拘置所、京都社会福祉士会、京都弁護士会、京都地方検察庁、京都保護観察所、木津防犯協会、網野ライオンズクラブ、京都モーニンググロータリークラブ、京都府警察本部交通部（安全運転管理者等法定講習：府内全 16 会場）、犯罪被害者支援連絡協議会（綴喜郡、南丹、下鴨、下京、上京）、京都府東山警察署

(7) 大学との連携（講師派遣）

- 京都ノートルダム女子大学（現代人間学部心理学科） 6月18日
 - ・民間ボランティア団体による犯罪被害者支援
- 龍谷大学（法学部・文学部） 10月20日、10月29日
 - ・京都犯罪被害者支援センターについて
- 同志社大学（心理学部） 3月19日
 - ・京都犯罪被害者支援センターについて

(8) ほくぶエリアにおける犯罪被害者等支援施策推進会議

ほくぶ相談室の電話相談件数が少ないことから、北部地域の広報啓発活動を活発化する必要がある。各々の市町村での広報啓発活動を強化していただけるよう、北部地域の市町の担当者に様々なデータを提供するとともに、実行にあたっての課題などを議論していただいた。

日時：9月25日 会場：市民交流プラザ福知山

参加者：北部地域5市の担当者、京都府

内容：センターの活動報告、参加市町からの広報活動の実績と来年度の活動報告、意見交換

以上 広報啓発事業合計 4,774,964円

4. 調査研究及び研修事業

(1) 新規ボランティアの募集及び養成研修（前期・後期）

28期生から一日の研修時間を延長することで研修期間を前期・後期合わせて1年間を半年間に短縮した。そのため、令和7年度は27期生（後期）と28期生（前期・後期）の1.5回分を実施した。

○27期生養成研修（後期）

研修日 場 所	①4月22日 ②5月27日 ③6月24日 ④7月22日 ⑤8月26日 ⑥9月9日 ⑦10月1日
内 容	①犯罪被害者支援に携わる者の留意点、支援の実際（電話相談） ②支援員のストレスマネジメント、支援の実際（面接・直接的支援） ③被害者支援制度の理解、裁判傍聴（講義） ④ロールプレイ（電話相談1） ⑤ロールプレイ（電話相談2） ⑥ふりかえり ⑦被害者支援者として、電話相談の記録の書き方・事案種別の説明

○28期生養成研修（前期）

研修日 場 所	*9月から約2ヶ月間、新聞等を通じ募集の上、研修を開始 ①11月27日 ②12月4日 ③12月9日 ④12月18日 会場：交通安全会館会議室、ハートピア京都
内 容	①開講式、被害者支援の歴史と現状、京都犯罪被害者支援センターについて、被害者の声を聴く ②犯罪被害の実情・警察の被害者支援・性暴力被害者への支援、DVについて、被害を受けた人の心理 ③行政との連携、検察官の業務と被害者支援、ストーカー犯罪について、被害者支援に携わる人々の課題 ④交通犯罪の被害者、被害者の声を聴く、弁護士会の取り組み・刑事手続きの流れ、行政との連携、閉講式

○28期生養成研修（後期）

研修日 場 所	①1月27日 ②2月3日 ③2月10日 ④2月19日 ⑤4月1日 会場：交通安全会館会議室
内 容	①犯罪被害者支援に携わる者の留意点、支援の実際(電話相談、面接、直接的支援) ②支援員のストレスマネジメント、ロールプレイ(電話相談1) ③少年事件について、ロールプレイ(電話相談2) ④被害者支援制度の理解 ⑤被害者支援者として、ボランティアとの交流

(2) 月例研修会

令和6年度の支援件数のうち45%性犯罪を占めたことから、年間を通したテーマを「性犯罪被害者への支援」として実施した。

○1期生～27期生及び北部1期生～北部8期生

研修日 場 所	①4月5日 ②5月10日 ③6月7日 ④7月5日 ⑤9月6日 ⑥10月4日 ⑦11月8日 ⑧1月10日 ⑨2月21日 ⑩3月7日 会場：交通安全会館会議室、京都SARA他
内 容	①KVSCの活動、支援調整会議について ②性犯罪の刑事手続き・司法面接について ③学校事故・事件の被害者家族・遺族の傍らに居て考えてきたこと ④定時社員総会報告等 ⑤性犯罪に関するR5年刑事法改正～被害者代理人の立場から～ ⑥京都SARA施設見学・講義 ⑦犯罪被害者支援京都フォーラム ⑧事例検討 ⑨性犯罪被害者への支援における配慮・留意点 ⑩支援員のセルフケア

(3) スキルアップ研修

○1期生～27期生及び北部1期生～北部8期生

研修日 場 所	①9月6日 ②12月11日 会場：交通安全会館会議室
内 容	①被害念慮が強い方からの電話相談について ②京都府犯罪被害者等支援条例及び補助事業について

(4) 外部研修への参加

○全国被害者支援ネットワークフォーラム・研修会

・質の向上研修近畿ブロック

上半期(京都犯罪被害者支援センター担当) 8月1日～8月2日

下半期(ひょうご被害者支援センター担当) 2月7日～2月8日

・経理事務担当者研修 9月5日

・支援活動責任者研修 12月5日～12月6日

・近畿ブロック支援活動責任者会議 2月2日

・全国犯罪被害者支援フォーラム2025・秋期全国研修会 10月17日～10月19日

○その他

・死傷者多数事案における被害者等支援訓練見学 10月30日

・研修会「学校で性暴力被害がおこったら」2月12日

・居住支援の推進に向けた研修会 2月16日

・遺族支援研修会 2月19日

・大阪アドボカシーセンター被害者支援セミナー 2月24日

・児童思春期メンタルヘルスケア研修 3月12日

(5) 京都府犯罪被害者等施策市町村担当者研修

京都府犯罪被害者等支援条例の制定に伴い、昨年度と同様京都府と当センターの共催で実施した。支援調整会議及び市町村における機関内支援調整会議の必要性の理解促進のため、京都弁護士会、京都社会福祉士会、京都府臨床心理士会のご協力を得て模擬支援調整会議を行った。その会議に市町村担当者が出席することで臨場感のある研修を行うことができた。

開催回数：3回（8月21日（北部）、9月18日（中部）、10月23日（南部））

参加者：京都府内市町村担当者及び管轄警察担当者 25名（8月）、37名（9月）、29名（10月）

内容：京都犯罪被害者支援センターについて、模擬支援調整会議、広報啓発活動について

以上 調査研修及び研修事業合計 1,413,972 円

5. 会議

(1) 定時社員総会

日時・場所：令和7年6月21日（土） 京都経済センター6階 会議室 6-D

内容：【一部】審議事項・報告事項

令和6年度事業報告、令和6年度決算報告及び監査報告、基本財産の一部取り崩し、

令和7年度事業計画及び予算、令和7年度活動方針と実行計画

【二部】犯罪被害者支援功労者表彰、感謝状贈呈

(2) 理事会

5月22日（オ）、9月16日（書面）、3月10日（オ）（3回） （オ）オンライン開催、（書面）書面開催

(3) 全国被害者支援ネットワーク（出席）

○新任事務局長等研修、全国事務局長等会議 4月14日～4月15日

○令和7年度定時社員総会 6月10日

○近畿ブロック事務局長会議 9月30日

○海外調査事業報告会 2月2日

(4) 京都府及び市町村（出席）

○警察庁総合的対応窓口における相談状況集計に関する説明会 4月17日

○府民相談相互連絡ネットワーク会議 6月24日

○はぐくみネットワーク令和7年度第1回幹事会及び研修会 6月27日

○京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画意見聴取会議 9月29日

○配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都協議会に係る代表者会議 10月2日

○第1回宇治市防犯推進計画改定委員会 10月20日

○交通事故被害者支援研究分科会 11月18日

○京都ストーカー総合対策ネットワーク会議 11月18日

○第2回宇治市防犯推進計画改定委員会 11月25日

○京都市防災会議 12月12日

○第2回女性のための相談ネットワーク会議 1月26日

○少年被害者支援研究分科会 2月2日

○京都府相談・支援ネットワーク京のいのち支え隊総会（オンライン）2月6日

○配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都協議会 2月9日

○第3回宇治市防犯推進計画改定委員会 2月16日

○性犯罪被害者支援研究分科会 2月17日

(5) その他（出席）

○京都府暴力追放運動推進センター評議員会 6月18日

○犯罪被害者等支援コーディネーター研修フォローアップ研修（冬期）（オンライン）12月8日

○京都府暴力追放運動推進センター評議員 3月5日

○京都弁護士会との意見交換会 3月26日

6. 京都府及び市町村関連行事等

○生命のメッセージ展

日 時 場 所	令和7年11月16日（日） 10:00～16:00 イオンモール京都桂川 3階イオンホール 令和7年11月25日（火） 10:00～17:00 MOMO テラス 1階アトリウム 令和7年12月7日（日） 10:30～16:00 京都テルサ 東館2階セミナー室
主 催	京都府、京都市、京都府警察本部、特定非営利活動法人いのちのミュージアム、 京都府犯罪被害者支援連絡協議会、(公社)京都犯罪被害者支援センター
内 容	・生命のメッセージ展 ・映像上映 犯罪被害者支援啓発動画 京都芸術デザイン専門学校×京都芸術大学×京都府警察本部が共同制作 電子紙芝居「まおちゃんの新しい靴」 ・展示 龍谷大学付属平安高等学校生徒による一行詩（書画）

7. 受託業務

(1) 京都市犯罪被害者総合相談窓口設置に係る事業

①援助事業

○京都市犯罪被害者総合相談窓口の設置

電話相談：075-451-7830

稼働日：238日 月～金 12時～17時（8/12～8/16、12/28～1/4、祝・休日を除く）

電話相談件数：488件

内容：生活困窮者への生活資金の給付申請、住宅に関する申請補助等、精神医療費用助成申請

②広報啓発

・犯罪被害者週間における啓発活動、生命のメッセージ展、広報啓発物作成、フォーラム開催

③人材育成

・新規ボランティア募集及び研修の開催、外部研修会等への参加

(2) 京都府犯罪被害者等支援条例に係る事業

①支援調整会議運営

開催回数：12回

罪名：特殊詐欺、DV、不同意性交等、傷害、脅迫、名誉棄損、強制性交等、殺人

支援調整会議決定に基づく支援内容：

面接相談、電話相談、付添（行政、警察、法律事務所等）、裁判傍聴付添、カウンセリング紹介、
見舞金手続き援助、他機関との連携

支援調整会議決定に基づく支援回数：119 回

出席者：のべ 149 人（内センター53 人）

②生活再建支援事業及び法的援助助成事業

○生活再建支援事業

犯罪被害者等の生活再建に必要な転居費用の助成申請手続き

○法的援助助成事業

犯罪被害者等が当事者として裁判に参加するために必要な弁護士費用等の助成申請手続きの説明

8. 会員、寄付型自動販売機、ホンデリング

（1）会員 （令和 8 年 3 月 31 日）

○正会員 245 名（15 名減）

○賛助会員個人 319 名（新規 17 名、35 口増）、団体 74 団体（新規 11 団体、31 口増）、
法人 99 法人（新規 12 法人、12 口増）

（2）寄付型自動販売機

○センター設置型 43 台（13 台増） ○全国被害者支援ネットワーク設置型 9 台（1 台減）

○交通安全ラッピング寄付型 36 台（9 台増）

（3）京都ホンデリングプロジェクト

総冊数：13,916 冊、寄付金額：642,982 円（前年比 10.2%増）【京都府警察、行政、事業所等、個人】

9. その他

○イオンモール京都黄色いレシート寄附金贈呈式（出席） 4 月 1 日

○熊本県、くまもと被害者支援センター、熊本県警察来所、オフィス視察 6 月 11 日

○熊本県、くまもと被害者支援センター、熊本県警察、愛媛県来所、支援調整会議視察 6 月 12 日

○警察庁来所、財政状況ヒアリング 6 月 23 日

○警察庁来所、支援調整会議ヒアリング 7 月 16 日

○京遊連社会福祉基金助成金贈呈式（出席） 11 月 28 日

○日本財団来所、財政状況ヒアリング 12 月 8 日

○被害者サポートセンターあいち訪問 自助グループ見学 2 月 22 日

○京都府犯罪被害者等支援ワンストップ調整事業委託業務に係る個人情報の適正な管理に必要な
措置状況実地検査 3 月 4 日

○京都市犯罪被害者総合相談窓口設置及び運営委託事業に係る個人情報の適正な管理に必要な措
置状況実施検査 3 月 11 日

○イオンモール京都黄色いレシート寄附金贈呈式（出席） 3 月 13 日

○京都新聞社会福祉事業団助成金贈呈式（出席） 3 月 30 日